

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373 番
FAX (076) 231-5156 番
発行人 井沢宏夫
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 新旧会長歓送迎会
- 3面 共済制度案内
- 4面 歯科メールニュース案内
- 5面 保団連研究部会報告
- 6面 おサル先生の在宅医療入門⑦
- 8面 ⑧囲碁・将棋

今月の会員数/971人(医科703人・歯科268人)

第五回会員デビュー講演・シンポジウム

新規開業の工夫を聞く

コンサルタント、電子カルテへの質問多数

四月二十二日(火)、金沢都ホテルにおいて第五回の会員デビュー講演・シンポジウムが開催されました。野々市町御経塚で耳鼻咽喉科・眼科を開業されている堀川勲先生、智恵子先生ご夫妻と松任市内のばんどう内科クリニックの坂東琢磨先生に演者をお願いしました。

堀川先生ご夫妻には「夫婦開業のメリット・デメリット」という題で、ご講演いただきました。ご夫婦開業では資金準備が比較的容易でかつ融資の条件がやや

四月二十二日(火)、金沢都ホテルにおいて第五回の会員デビュー講演・シンポジウムが開催されました。野々市町御経塚で耳鼻咽喉科・眼科を開業されている堀川勲先生、智恵子先生ご夫妻と松任市内のばんどう内科クリニックの坂東琢磨先生に演者をお願いしました。

堀川先生ご夫妻には「夫婦開業のメリット・デメリット」という題で、ご講演いただきました。ご夫婦開業では資金準備が比較的容易でかつ融資の条件がやや

四月二十二日(火)、金沢都ホテルにおいて第五回の会員デビュー講演・シンポジウムが開催されました。野々市町御経塚で耳鼻咽喉科・眼科を開業されている堀川勲先生、智恵子先生ご夫妻と松任市内のばんどう内科クリニックの坂東琢磨先生に演者をお願いしました。

堀川先生ご夫妻には「夫婦開業のメリット・デメリット」という題で、ご講演いただきました。ご夫婦開業では資金準備が比較的容易でかつ融資の条件がやや

四月二十二日(火)、金沢都ホテルにおいて第五回の会員デビュー講演・シンポジウムが開催されました。野々市町御経塚で耳鼻咽喉科・眼科を開業されている堀川勲先生、智恵子先生ご夫妻と松任市内のばんどう内科クリニックの坂東琢磨先生に演者をお願いしました。

堀川先生ご夫妻には「夫婦開業のメリット・デメリット」という題で、ご講演いただきました。ご夫婦開業では資金準備が比較的容易でかつ融資の条件がやや



第5回会員デビュー講演・シンポジウム/左から堀川智恵子医師、堀川勲先生、坂東琢磨先生、司会の三宅靖理事 (4月22日・金沢都ホテル)

石川県保険医協会 社会保障セミナーのお知らせ

シリーズ第1回 特別講義

「社会保障と人権の歴史」

とき: 5月23日(金) 午後7時~午後9時

ところ: 金沢都ホテル 4階「404号室」

講師: 井上 英夫氏 (金沢大学法学部教授)

演題: 社会保障と人権の歴史

参加費: 3,000円 (テキスト代)

テキスト: 「人権としての社会保障原則」小川政亮編著 ミネルヴァ書房
「人権を教える一初・中等教育用実践ガイド」国際連合広報センター

昨年来の一連の医療保険制度の改悪は、国民の健康に重大な影響を与えている一方、私たちの医療経営にも深刻な打撃を与えています。保険医協会や医師会・歯科医師会も未曾有の改悪反対の運動を行ってまいりましたが、今ある種の「挫折感」が私たちの間にあるのも事実かと思えます。ここで私たちは、そもそも健康保険など社会保障がなぜ必要なのかとの原点に立ち返り、改めて学習してみようことを決め、昨年来準備を進めて参りました。まず全体のコーディネーターを金沢大学法学部井上英夫教授にお願いし、ゼミナール形式(テーマ毎に報告者を事前に決め、発表してもらい、その後参加者全員でディスカッションをする)を主体に、適宜特別講義を折り込んで進めていく計画です。セミナーは「楽しい雰囲気」かつ「真剣」にやろうと思っています。

私たち協会会員も戦前戦中の教育を受けた方々、安保世代、学園闘争世代、そして高度成長期その後のバブル崩壊の時期と幅広い世代に分布し、社会保障に対する思いや認識も様々と思えます。ここで一つ、この時期だからこそ本物の社会保障と人権の勉強を一緒にやってみようではありませんか。このことは、国民に社会保障と人権の真の意義と大切さを知ってもらうために是非必要と思えます。また全国の保険医協会を見渡しても未だかつてないユニークな企画と思えます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

★セミナー第1回は特別講座とし、「社会保障と人権の歴史」として、井上教授の講演です(5月23日)。それに続いてゼミナール1、2、3は「薬害と人権」、「ハンセン病と人権」、「終末期医療と人権」として2カ月に一度のペースで開催することとし、その報告者も世話会で決定しています(4回目以降は未定)。詳細は追ってお知らせします。

■お申し込みは協会事務局まで TEL: (076) 222-5373

営戦略になぞらえて、無駄な経費を可能な限り削減し、スタッフも新しい人を雇用し、ご自分の自由な発想での新しい「ばんどう内科クリニック」の経営をめざしているとお話ししました。さらにこのためには電子カルテは非常に有用であると強調しておられました。

堀川先生ご夫妻は、開業にあたりコンサルタントとの契約もなさっており、講演後の意見交換会ではこの点と坂東先生の電子カルテに対する質問がかなりあり、いざいざ非常に大きな力になることが分かり、大変参考になりました。

【関連記事 五面】

石川県保険医協会

★学術講演会のご案内

睡眠時無呼吸症候群とは

Sleep Apnea Syndrome

講師: 西 耕一 (石川県立中央病院呼吸器内科診療部長)

宮田 勝 (石川県立中央病院歯科口腔外科部長)

とき: 7月19日(土) PM7:00~PM9:00

ところ: 金沢都ホテル 5階 能登の間

対象: 医師、歯科医師、歯科技工士

参加費 会員医療機関: 無料/会員外: 2,000円

■申込: 協会まで電話・FAXで/TEL: (076) 222-5373 FAX: (076) 231-5156

医心凡語

今年の開花宣言は予想に反し、かなり遅れ気味になったようだ。四月の中旬を過ぎて、桜吹雪に遭遇できた。木曜日の午後、ときどき、手帳にぽっかりあいた空白を利用して、兼六園の茶屋にいる。暖かな日差し。柔らかな風。流れるように舞う花びら。すべてが見慣れたものであるはずなのに、すべてが新しい。ゆっくりお茶を飲み、団子を頬張る。頭の奥で何が溶けていくのが分かる。日常に振り回されて、いつの間にか感覚障害を来していたようだ。これはさしずめ「医療改悪神経症候群」かしら。最近新聞を読むことがこわい。毎日どこかで命があまりにも簡単に失われている。医療過誤を摘発する記事の横に、戦争の記事が載る。ひとりの命を救い、ひとりの命にこだわる。その一方でただそこに生まれ、その場に居合わせたというだけで奪われる多くの命がある。このギャップは一体何なのだ。人の命の重さ。そのために人は戦い、傷付け合う。そして皮肉なことに、戦争は「人の命の重さ」の違いをあまりにも正直に物語る。アフガンでも、イラクでも、パレスチナでも、明らかに命の重さは違っている。それが「正義の戦争」である。増大する医療費自己負担。アメリカ型自己責任社会への転化。この国でも今、命の重さが問われている。



35人が出席して開かれた新旧会長歓迎会 (4月19日・金沢都ホテル)

新旧会長歓迎会

開業医はロマンを

千人会員をめざして

四月十九日(土)、石川県保険医協会発足時からの役員、部員、事務局員など、総勢三十五人が出席し、金沢都ホテルで新旧会長歓迎会が行われました。

会は、新しく副会長になられた西田先生の司会のもと、勝木副会長による高松前会長への謝辞で始まりました。

高松先生は、一九七五年に保険医協会が発足した当時より役員として協会のために尽くされ、一九九五年からは会長として、今年三月までの八年間、ご活躍されました。

第二回理事会は、総務部からの十人の会員増の報告で始まった。そのあと、新旧会長歓迎会の準備、サタデナイトセミナー(万が一の場合に家族に残すマニュアル)の出席予定者の好調な出席、第五回会員デビュー・講演シンポジウム(夫婦による開業と第三者継承)の計画、歯科部主催の睡眠時無呼吸症候群についての講演会の企画、社会保障セミナーの具体的な実施計画、『石川保険医新聞』八月号座談会の企画(産業界問題をとり上げる)など盛りだくさんの事業計画の報告と検討があった。

さらに、今回の特筆事項としては、和歌山協会からの平田歯科部長への

4月度理事会点描 全国から期待され 活発に動く理事会

(4月5日・12人出席)

請求人の主張が石川県で初めて認められた」との報告があったことが挙げられる。協議事項では、医療抜本改革、介護保険制度への対応として、恒例となった新聞記事の検討、社保本人二割負担法案、五月の中医協総会で検討される予定の再診料通減制の見直しについて、石川社保協の「医療・介護一九番」などについて話し合われた。そのほか、北信越ブロック会議、保団連代議員会への出席者の確認があり、建設的な意見と討議で終了した理事会は、予定の二時間を十分超過して終了した。

【西田記】

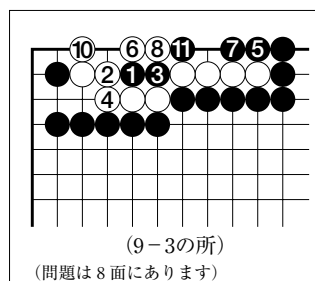


前列左から4番目が井沢宏夫新会長、その右が高松弘明前会長

高松会長の在任中は、世の中が不景気となり、医療制度も改悪の道に入っていくという非常に厳しい時代でしたが、先生の指示のもと、石川県保険医協会はさまざまな活動や運動を行い、会員数も順調に伸び、その手腕が発揮されることに期待がこめられた内容で

乾杯は現在顧問である平松元会長のご発声で行われ、舞台はアトラクションへと移りました。まずは、勝木副会長と大石先生によるマジックショー、さらに高松前会長のマンドリン演奏、最後は北山編集長によるテノール独唱でした。いずれもプロ顔負けの熟練された技術で、会場は大いに盛り上がりました。

アトラクションの後は、出席者からのスピーチで、高松先生、井沢先生とのなつかしいエピソードなどが語られ、前会長の労をねぎらうと同時に新会長へのこり、来年の三十周年に向けて、千人会員をめざして、井沢新会長のもと努力して



(9-3の所) (問題は8面にあります)

囲碁解答

黒1が急所以下黒11まで白死です。手順中黒9が好手。黒1で2は白1黒6白4黒10でコウになります。黒1で5は白8で活きます。

将棋解答

1三角、同銀、4三角、2二玉、3三角成、同歩、3二飛、1一玉、2三桂不成まで九手詰め。 (解説) 2三桂不成や4二角は、2二玉以下詰みません。1三角がのち詰み形を見た捨て駒です。3玉目に5三角、3三香、同馬、同玉で4四に逃げ道ができてしまいます。4三角から3三角成が好手順。同玉なら2三飛までなので同歩ですが、飛車を打って解決します。なお3二飛では、離して打つのも可。 (問題は八面にあります)

もう一つの核戦争—イラク・湾岸戦争の子どもたち

戦争の誤りと劣化ウラン弾の恐怖を訴える フォトジャーナリスト

森住卓 講演会



『A Different Nuclear War—Children of the Gulf War (もう一つの核戦争—湾岸戦争の子どもたち)』より転載。

写真・文・森住卓 劣化ウラン弾禁止を求める グローバル・アソシエーション編

とき 6月29日(日)午後2時~4時
ところ 石川県教育会館 2階大会議室(金沢市香林坊・アトリオ裏 Tel 076-222-1241)
参加費 500円
主催 核戦争を防止する石川医師の会、非核の政府を求める石川の会
連絡先 石川県保険医協会 Tel 076-222-5373 Fax 076-231-5156

持論

医療制度抜本改革の名のもと、わが国の社会保障制度の一角が目に見えて後退している。非常に悲しいことであり、われわれ医療者としては踏ん張りどころである。しかし、今回は、このことはあえて横に置き、今ひとつ考えておかなければならないことについて検討したい。

学会、厚労省と様々なガイドラインが発表されているが、日常診療に目を移してみると、日々の診療をがんじがらめに縛っている診療報酬点数表、これこそ保険診療にもっとも大きな影響を与えているガイドラインといえないだろうか。このガイドラインには、目前の患者を治療することに関しての議論がない。あくまでも、厚労省が考え

る、医療者と患者の間の医療契約に基づいた診療をしていく上での経済的な決まりを述べているだけである。

診療報酬点数表は、最近発表されているガイドラインと同

ある。医療の問題だけではなく、経済的に、社会的に、はたまた思想信条においても一人として同じ患者はいない。生身の人間が生身の人間とつきあっている中で、診療がなされているの

の研鑽も必要なのである。そこでは研鑽は医学におけるものだけではない。自然科学はもとより、広く社会科学、人文科学の分野をカバーするものでなければならぬ。そして、もちろんそうあると思うが、一人診療に携わる医師のみならず、レポート審査に当たる審査委員にも、社保指導を行う行政の方々にも医療にかかわる者としての広い視野に立った考えを持って対応して頂きたいと思う。

全人的医療のために 本物の保険診療を

ある。ガイドラインとかDRG/PPSとあってひととめにして診療できるほど第一線の開業医療は画一的なものではない。そこに、医師の裁量権が生きてくるし、医師としての日々

医療情勢が日に日に厳しくなっていく中、医業経営に汲々とするあまり、保険に通るだけの診療に終始してはいないだろうか。本物の保険診療とは何か、全人的な診療を行っていくためには何をなすべきかを今一度問い直してみようではないか。

万-の場合の大きな保障

グループ保険

年1回のチャンス
加入受付中
6月20日まで

1年毎に更新する団体定期保険

40歳男性の場合

安い掛金
手続き簡単

6,120円で4,000万円

ご夫婦そろってご加入ください

●本人最高保障額
●配偶者最高保障額

4,000万円 1,000万円

詳しくは協会発行パンフレットまたは電話でお問い合わせください。
076-222-5373

保団連2大 共済制度の ご案内

保険医年金
保険医休業保障

老後の生活に備えるために、また急な病気やケガのときでも安心して療養に専念していただけるように、保険医年金、休業保障などの共済活動に取り組んでいます。

好評
受付中!!

加入申込
受付期間
4月1日~5月25日
(年1回)

保険医休業保障共済制度

主催 全国保険医団体連合会 主務 長崎県保険医協会

第18回医療研究集会

メインテーマ
健康と平和—医療の原点をみつめて

分科会・ポスターセッション
演題募集中

●日時
2003年9月13日(土)~14日(日)

●場所
ホテルニュー長崎
長崎市・JR長崎駅隣接

分科会・ポスターセッションの募集内容

- ミニ講演
「諫早干拓と有明海異変」
東 幹夫 氏(長崎大学教育学部教授)
- 第1分科会「在宅医療・介護」
(1会場、11演題予定、発表10分、質疑5分)
- 第2分科会「医科診療の研究および工夫」
(2会場、22演題予定、発表10分、質疑5分)
- 第3分科会「歯科診療の研究および工夫」
(2会場、22演題予定、発表10分、質疑5分)
- 第4分科会「公害・環境・職業病」
(1会場、7演題予定、発表10分、質疑5分)
- 第5分科会「医学史・医療運動史・医療と裁判・平和」
(1会場、11演題予定、発表10分、質疑5分)
- ポスターセッション(展示のみとなります)
(パネル10台予定)

演題の申し込み方法

各協会・医会にお申し込みください。
演題募集は5月31日締切
応募演題は、先着順に受け付けます。

共同調査を実施中です

医科:「ジェネリック医薬品の開業医の使用実態・意識調査」
歯科:「歯科における医療連携」
— ご協力をお願いします。 —

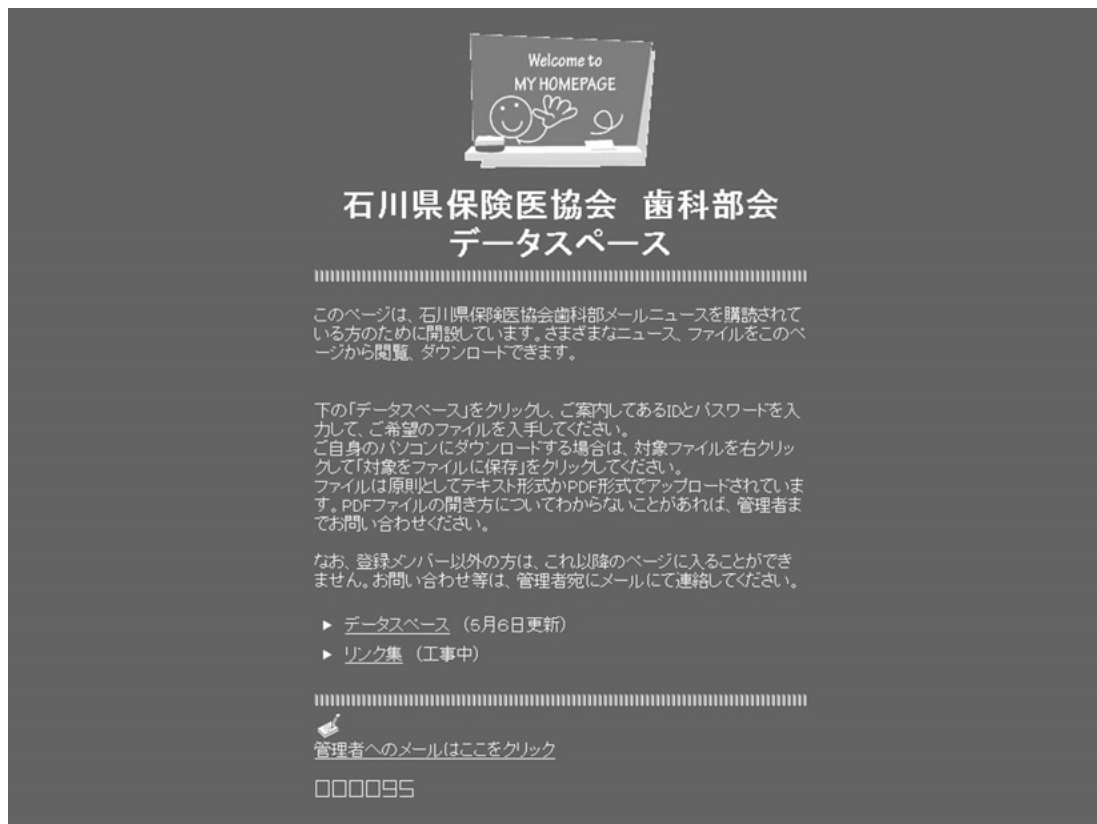
歯科メールニュースリニューアルのご案内

昨年6月からスタートした「メールニュース」を、このたび4月からリニューアルしました。従来は、協会からニュースを取捨選択してお届けしていましたが、これからは、本メールニュース購読者専用のホームページを設けて、そちらにニュースを掲載し、購読されている方に読んでいただくという形式をとります。このホームページは、IDとパスワードがないと見ることはできません。

これにより、タイムラグなくニュースをお届けできるようになります。また、情報について今まではスペースの都合でのせられない情報もたくさんありましたが、今後は広く情報提供できるようになると思います。

今後のメールニュースは、上記のホームページの更新情報を中心にお届けすることになります。つまり、「こんなニュースをホームページに掲載しました」というシンプルな内容になるわけです。もちろん、詳しくは皆さんご自身がホームページにアクセスすることにより情報入手するわけですが、このメールニュースを読むだけでもニュースのアウトラインがつかめることになると思います。

多くの皆さんの購読申込をお待ちしています。



発行日

現在、平日にほぼ一日おきに発行しています。リニューアル後の1か月間で13号の発行実績があります。

内容

- ・医療改革関連ニュース
- ・歯科関連ニュース
- ・診療報酬点数の話題
- ・保団連情報
- ・保険医協会からのお知らせ

購読申込み

保険医協会会員の方であれば、どなたでも購読していただけます。もちろん、料金は無料です。購読をご希望される方は、下記のメールアドレスに「メールニュース購読希望」とご記入のうえ、メールを送信してください。

iskw_kudo@doc-net.or.jp

※購読申込みされた方に、改めてメールにてURLおよびIDをお知らせします。

歯科メーリングリストのご案内

テーマをフリーにして、より参加しやすくなりました

昨年春からスタートした「メーリングリスト」についても、このたび運営方針を変更することになりました。

従来は、投稿テーマを定めてそれに沿った内容の発言を求めていましたが、今後は特に投稿テーマを設けず、まったく自由な意見交換の場にしていきます。また、従来は、読むだけの参加は認めずどんどん意見交換していただくことを参加の条件にしていたのですが、ここまで厳しくはせず、参加者それぞれのペースで発言をしていただければと考えています。

医療制度改革、診療報酬点数、経営、税務、雇用管理などの意見交換、学術的な議論、保険医協会に要望する企画(講演会、サタデナイトセミナー等)、趣味の話、雑談等々、会員の皆さん相互の親睦と意見交換・情報交換の場にしていただければと思います。

多くの皆さんの参加申込をお待ちしています。

《参考》「メーリングリスト」とは

メーリングリストとは、メールを使って大勢の人とコミュニケーションすることのできるシステムのことで、すごく簡単に言うと、決まったメールアドレスにメールを送ると、参加しているメンバー全員に同じメールがコピーされて送られるしくみです。

これを繰り返すことによってメールを使った会話が進められていきます。

例えばどなたかがテーマに関連する話題をメーリングリストに送ったとします。そうするとそのメールはメーリングリスト参加者全員に自動的に送られることになります。その後、メーリングリスト参加者の中でその話題に答えられる方がいればその人がメーリングリストに返信を送ります。そのメールも参加者全員に自動的に送られるので、結果として、メーリングリスト参加者全員がその情報を共有できるということになります。

参加ご希望の方は…

メーリングリストに参加ご希望の方は、保険医協会事務局の工藤あてに(アドレスは下記)電子メールにてその旨を送信してください。速やかに参加登録を行います。なお、メーリングリストの参加について、特別な費用は発生しません。通常のメールを受信するのと同じ方法で受信できます。

メーリングリスト申込先

iskw_kudo@doc-net.or.jp

二〇〇三年度第一回保団連研究部会 ならびに研究担当者会議

石川の報告に熱い視線が

保団連研究部員 平田 米里(理事/野々市町・歯科)

保団連研究部会は、四月二十六日(土)午後六時より、大阪ガーデンパレスにて開催されました。石川協会からは三宅靖理事と工藤事務局長、そして私が出席しました。

以下、私の印象に残った議案、内容を中心に報告させていただきます。

部会では、兵庫協会の広川恵一医師や神奈川協会の平尾紘一医師を中心に、活発な意見交換が行われた。各協会の報告をお聞きした中では、兵庫協会や神奈川協会では、全国から非常に注目される活動を開いていると

医協会として模範的研究部の在り方になるとの感触が

充実する余地があり、それが会員の要求にこたえ、国民の健康増進に寄与することになるとの激励が飛びました。

研究会活動を開催している協会の関心は、各地域でのさまざまな理由が考えられ、一概に論じられないうので、未開催協会だけを

その他では、前回の第七回医療研究会の『深呼吸が診察室血圧と脈拍に及ぼす影響について』の共同研究が

残りました。また、兵庫協会の広川先生の部会活性化のためにと題した報告が印象的でした。

研究会活動にスポンサーをつけることは各協会の考えで決めれば良いことで、部会として強制するものではない、などが記憶に残りました。

また、兵庫協会の広川先生の部会活性化のためにと題した報告が印象的でした。

保団連研究担当者会議・発言要旨

「会員デビュー講演・シンポジウム」 の開催趣旨と意義

理事 三宅 靖(金沢市・内科)

私ども石川県保険医協会では、一昨年7月から計5回にわたり「会員デビュー講演・シンポジウム」～開業医としての夢を語る～と題して、主として新規開業の先生方に開業までの足跡とこれからの展望を毎回3人の方にそれぞれ約20分でお話していただき、その後シンポジウム形式で意見交換をするという会を主催してまいりました。15人の演者の専門分野は消化器内科、代謝・内分泌内科、神経内科、呼吸器内科、消化器外科、脳神経外科・小児外科・精神科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科、そして麻酔科とまさしく多士済々というところで、幅広いお話しを聞くことができました。

また、講演後の意見交換会でも活発な討議がなされ、議論が白熱するあまり予定時間を過ぎてしまうこともあったほどです。回を重ねるにつれ、最近の開業の共通項がはっきり見えてくるように思われます。それはどの発表を見ても自分の専門性を開業という形態の中で最大限に生かすことを重要視しているということです。

地域医療を担うものとしてプライマリーケアとしての一般診療の知識・技術の重要性はいうまでもないのですが、自分の仕事を充実させ、また、地域に認められるためには、開業医といえども、いや、開業医だからこそ自分の特徴を前面に出すことが必要であるという考え方が主流になっているようです。

一方、演者以外の会員にとってもこの講演会は、単に新しい知識や情報を得る場というだけではなく、日々の業務のなかで忘れがちとなっている初心を思い起こすよい機会となっているようです。どの時代でもリスクを背負って新規開業をすることは簡単ではありません。しかしながらこの厳しい医療経済状況のなかで診療機関を維持・存続させていくことも新規開業にもまして容易ならざることです。既存の医療機関も文字通り生き残りをかけて勇気を持って自己改革していくことが必要となってきています。この講演会で、この「勇気」を共有できれば大変すばらしいことであると確信いたします。また、このように会員相互が刺激しあうことにより、協会への理解が深まり活動全体が活性化していくという利点も見逃せません。現にこの講演会の演者の中から新理事、新部員も誕生しています。

今後は、新規開業の先生はもちろん、中堅、大ベテランの会員にも声をかけて幅広く意見交換をし、さらには新規開業を考えている勤務医の先生方にも広く呼びかけてさらに実り多い会にしていきたいと思っております。

①研究会、勉強会、講演会の類は、医師会主催、専門学会、個人的なもの、メーカー主催のものも多く開催されますが、その中において、協会の研究部会はどこにその目的や意義を置くべきかを先ず明確にしておくべきではないか。それは、会員の生涯教育の一環や国民に良い医療を提供することに置かれることがまず第一でしようという意見は納得でした。そして、医療専門医としての役割・機能の発揮、多様化する会員のニーズにこたえること、地域生活に関わる運動団体としての視点をお忘れな

②勉強会などの講演要旨を即メールなどで配信するサービスが非常に好評だとのこと、これは石川協会でも即取り入れられそうなお

歯科医師の日常診療のための禁煙指導の知識」と題した、奈良女子大教授で禁煙指導医の高橋裕子先生の講演は興味深いものでした。

数年前の当協会の服部真先生の講演をお聞きしたことが、またまた大変参考になりました。特に、小中学校から喫煙すると、大人になってから始めるよりも禁煙が困難になること、小学生の喫煙は親からの失敬喫煙で、家庭環境が大きな要素を縮めていると指摘は印象的でした。また、ニコチンガムは所詮噛みタバコをチョット精製したものので副作用が強いし、最後の一つ。大阪歯科協

午後各協会の報告でも、三宅理事による「会員デビュー講演・シンポジウム」についての石川協会の発表が一番面白く、関係者から学術に方針展開を」とはかかる協会が現れ

は、かねてから言い続けていたのですが、『保険医協会は医療・政策問題重視から学術に方針展開を」とはかかる協会が現れ

は、かねてから言い続けていたのですが、『保険医協会は医療・政策問題重視から学術に方針展開を」とはかかる協会が現れ



石川の「会員デビュー講演・シンポジウム」について発表する三宅靖理事



おサル先生の
在宅医療入門 47

小川 滋彦(金沢市・内科)

「飲む点滴」の巻

忙しい外来の最中におられたこと。ちょうど先生ご自身が山登りに末梢静脈用の点滴を持って行って、そのまゝ「飲む」習慣があり、それを在宅で予想されるので、往診して点滴してあげたいが、今日は、と、思いついたと言います。この商品は東京と四国は特に混んでいるので、夜まで動けそうにない。以前、ただで試験的に発売されておサル先生なら、こういう時パニックになってしま

りに近い高齢者が、発熱や夏場の食欲不振でぐったりした時、往診して末梢静脈点滴をする、ということをやっていましたね。でも考えてみたら、この方々は多くの場合、嚥下障害があるわけではなく、単に少し「干からびて」食べられなかつただけなのです。何

でもかんでも点滴するのは、医学の発達した本邦ぐらいのもので、東南アジアなどの発展途上国では「脱水」といえば、まず「経口補水液」なんだそうです。このような経口補水液をうまく利用すれば、在宅での末梢静脈点滴の光景はグッと減ってしまうかもしれませぬ。

ののだが、今はまず「経口補水液」を家族に取りにきと似ていますが、味はもておいしく、それを先に飲んでおられる。本来は清涼飲料水に分類されるのだが、ご家族には「飲む点滴」だと説明してあるので、医療行為を受けたという安心感もあるようだ。



特定の商品を宣伝する

たいたいことはばかられるのですが、一年ほど使ってみて、やはりこれはご紹介しなくてはと思ひ、筆をとることにしました。金沢赤十字病院にいらつした下田敦先生監修の経口補水液OS-1(オーエスワン)を昨年の夏前に知る機会がありました。先生は同院で訪問診療に携わつておられ、在宅のお年寄りの脱水状態に心を痛めて

納得のいかない返戻、査定は

『保険審査通信』

でお知らせください

「保険審査通信」は、納得のいかない返戻や査定があった場合に会員医療機関からお知らせいただき、保険協会が『石川保険医新聞』を通してコメントを掲載しています。会員医療機関におかれましては、不当あるいは納得できない返戻・査定を保険協会にFAXにてお送りください。

FAX 076 (231) 5156 E-mail:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

※保険審査通信は年に数回、会員医療機関に送付していますが、紛失した場合や追加が必要な場合は、保険協会までご請求下さい。

早川ドクターの山三昧



【第15話】 文部科学省登山研修所にて 早川 康浩(金沢市・内科)



剣岳山頂にて(同僚講師たち)僕は右端

これまで、趣味として単独で自由勝手に山登りを続けてきたのだが、少しは世の中のお役に立つこともしている。それは文部科学省が所管とする登山研修所(通称文登研)の医療講師としてであり、これまで長年山岳ドクターとして文登研との関わりを持ってきた。文登研は、一九六五年の北アルプス薬師岳での愛知大学生十三人の遭難死亡事故を契機に設立された、国の大学山岳部の

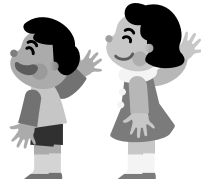


剣岳を背景に研修中の大学生

これまでも、趣味として単独で自由勝手に山登りを続けてきたのだが、少しは世の中のお役に立つこともしている。それは文部科学省が所管とする登山研修所(通称文登研)の医療講師としてであり、これまで長年山岳ドクターとして文登研との関わりを持ってきた。文登研は、一九六五年の北アルプス薬師岳での愛知大学生十三人の遭難死亡事故を契機に設立された、国の大学山岳部のリーダー育成機関である。過去三十年以上にわたり、延べ一万余千人の受講生を育てている。ただし、最近登山はきつ・汚い・危険の3Kの代名詞ともなり、大学生の間でも人気が薄れているのも事実である。本当はこの3K以上に素晴らしい世界があると僕は考えているのだが。たまたま富山の病院で検診を担当していた際、文登研の職員を診察したのが縁で文登研の活動に深く共感をして活動を共にするようになった。主な任務は、積雪期に剣岳や大日岳周辺で開催される約一週間にわたる登山研修会の医療講師として、大学生の健康管理することである。といっても決して楽な仕事ではない。体力パンパンの大雪山岳部の学生に随行して二十キログラム以上の医療装備や登山用具を担いで山に登り、緊急事態が発生すれば現場に駆けつけ治療に当たらないければならないからである。医療器具を持ちながら学生に随行して積雪期に剣岳登山を行うことは、それなりに危険も伴うため、毎回妻には力が一の時のために備えておくようにと伝えてきた。山の中で医療は下界とは大きく異なり、CTやレントゲンがあるわけでもなく、当時はバルスオキシメーターすらなかった時代であり、まさに聴診器が唯一の診察用具であった。ある研修会では咳が止まらないという学生を診察したところ、両肺野に湿性ラ音を聴取し、高山病の一種である重い肺水腫に罹患されていると思われ、緊急でそりに乗せ下山させたことがあった。病院での動脈血酸素飽和度は五〇パーセントを切り、両肺真つ白でICUに搬送され、一命を取り留めた学生もいた。もし、ただの風邪と診断していたらと思うと背筋が寒くなったものだった。肺水腫だけでも過去数例搬送する事態もあったし、切った張ったの外科的処置も日常茶飯事だった。毎回研修会が無事に終わり、立山町にある文登研本部に戻るまでは気の抜けない日々の連続であった。国の主催する研修会で万が一のことが起れば、医療責任者として

子どもたちなほん

シリーズ 34



『心のノート』に注目(その三)

子どもの心に届く言葉を

金沢大学教育学部非常勤講師 西嶋 弘子

◇あるがままでいい
大手学習塾の母親向けの入門書に「子どもが正解したら、笑顔で応えて」とあります。できなければ叱らず黙っているだけと、学習効果を上げるための母親の役割を説くものです。幼児にとつては、絶対の存在である母親の笑顔を求めて頑張ってしまうわけで、親子の絆を盾にした柔らかな虐待といえます。

幼いころから大人の期待感を背負ってきた子どもたちに、『心のノート』はまたまた「いい子」「できる子」を演じさせてしまっています。だからまず、この詩を子どもたちに贈りたいのです。

うさぎ まど・みちお作

うさぎにうまれて
うれしいうさぎ
はねても
はねても
はねても
はねても
うさぎでなくなりやしない
うさぎにうまれて
うれしいうさぎ
うさぎにうまれて
うれしいうさぎ
うさぎにうまれて
うれしいうさぎ
うさぎにうまれて
うれしいうさぎ

五味太郎作『正しい暮らし方読本』(福音館書店)

は、子ども目線の逆転の発想でいるんな暮らし方を展開してくれます。辛いこと、苦しいことがいっぱいだからこそ、笑い飛ばして生き抜きたいものです。四角四面の大人たちにぜひ伝授したいユーモアの感覚です。

◇どんな日本人像を
イラク戦争後の子どもたちに、どうしても伝えておきたいことがあります。

さらに『ポケット詩集』には、高学年向けの『奈々に...吉野弘』や、中学生には『わたしを束ねないで』新川和江』などがあります。意味づけや解釈や結論を急がずに、一人ひとり自分のペースで読みたいものです。年代によって感じ方受け止め方が違う詩の奥深さ、こういうゆとりが子どもには必要なのです。

◇子ども目線の生活感覚

日常生活の過ごし方も事細かにあれこれ言われると、聞き流すだけや反発しなくなったりするもので

子ども目線の生活感覚
日常生活の過ごし方も事細かにあれこれ言われると、聞き流すだけや反発しなくなったりするもので



したのゴミ
トイレトペーパーの芯
食べちゃったお菓子の箱
◎ごめんなさいのゴミ
しみてつけてしまったT
シャツ
腐らせたしまった玉ねぎ
◎もうしわけありませんの
ゴミ
失敗の画用紙や工作
ほとんど読まなかつた先
生お薦めの本
ゴミ問題を自分の目線
でひとひねりというのが、
生活を楽しくむという視点で
おもしろいのです。
『正しいケンカのかた』
や『正しいしかられ方』
等々、本質をついたユーモ
ラスな語り口に脱帽しま
す。

感を取り戻さなければなら
りません。そのために、も
誠実に本音で生きた人達の
の想いに触れ、他人事では
なく自分の生き方とつなげ
られたらと思います。
前述の『ポケット詩集』
にある、宮沢賢治作『雨ニ
モマケズ』や与謝野晶子作
『君死にたもうことなか
れ』、栗原貞子作『生まれ
めんかな』などは、古くて
も今日的な響きをもってい
ます。子どもや若者たちは
新鮮な驚きで賢治の生き方
に共感するといえます。
『心のノート』ではなく、
どんな日本人像を子どもた
ちの心に届けられるのか、
わたしたちが問われている
のです。選ぶのは子ども
もたちなのです。
(おわり)

感を取り戻さなければなら
りません。そのために、も
誠実に本音で生きた人達の
の想いに触れ、他人事では
なく自分の生き方とつなげ
られたらと思います。
前述の『ポケット詩集』
にある、宮沢賢治作『雨ニ
モマケズ』や与謝野晶子作
『君死にたもうことなか
れ』、栗原貞子作『生まれ
めんかな』などは、古くて
も今日的な響きをもってい
ます。子どもや若者たちは
新鮮な驚きで賢治の生き方
に共感するといえます。
『心のノート』ではなく、
どんな日本人像を子どもた
ちの心に届けられるのか、
わたしたちが問われている
のです。選ぶのは子ども
もたちなのです。
(おわり)

その① “視脳訓練” (斜視の話)

浅ノ川総合病院眼科 視能訓練士 小笹 一枝

先生?看護師さん? アイエイ 視能訓練士 です!

斜視とは、両方の視線が合っていない状態とそれに伴う両眼視(お互いの眼から入った情報を統合してみる)の異常があるものを言います。

片方の眼が内に向いているものを内斜視、外に向いているものを外斜視、上下にずれているものを上斜視と呼び分けています。

眼は4本の直筋と2本の斜筋の均等な緊張でまっすぐな位置にありますが、筋肉の異常や神経支配の異常などがあるとバランスがくずれ斜視の原因となります(麻痺性斜視)。

また、ある程度以上の遠視があると、未矯正の場合にはピントを合わせるのに伴って眼が内によるもの(調節性内斜視)や、片眼の視力不良により両眼視ができず斜視になるもの(斜視弱視)などがあげられますが、今のところ原因不明による斜視が大半を占めています。

「遺伝でしょうか?」と心配される方が多いのですが、そうでもあり、そうでもなしと、言ったところでしょうか。原因がハッキリしないものに関しては、「顔が左右対称の人がいないのと同じかな?」と説明しております。

治療法としては、眼の筋肉の位置を手術で移動させたり、短くして筋肉の力を調整し、まっすぐにする方法や、遠視が原因であれば、眼鏡の装用が治療となります。しかしこれは、視線を合わせるための治療であり、両眼視異常の治療のほんのわずかしかりあできていませんので、これと平行して視能訓練を行います。

人は2つの眼を気づかずに1つとして使っています。左右別々に入ってくる情報をまず受け取り(同時視)次のその二つを重ね合わせ(融像)

立体として見えること(立体視)を頭の中で行っています。これが両眼視と呼ばれている中で、立体視まで認知できるものを両眼視が良いといえます。これも視力と同じで、生直後から良好なものではなく、完成には生後半年くらいまでかかると言われております。

さて、斜視がある場合には、もともとこの両眼視のないものや、弱いもの、以前はあったが壊れてしまった状態であり、せっかく眼の位置が良くなったのに両方の眼の重ね合わせ(両眼視)が不良であるために、またずれていってしまわないようにするため、両眼視ができるよう視能訓練は行われます。

また、この訓練によって眼の位置が良くなる場合もありますので、術前にも積極的に行われています。

両眼視の良い眼がずれば、物が2つに見えるはずですが、人はそれを不快と感じ、あの手この手で片方の眼からの情報を消したり、2つにならないようずれた眼の位置で重ね合わせたりします。訓練はこれを正常化させ、両眼視機能の増強や獲得をめざします。

斜視の検査・訓練も、自覚的応答によることが多く、検査や訓練を待たずに乳幼児期に手術をすることも少なからずありますが、眼位矯正も視能訓練の一つですので心配無用です。

片方の眼しか使っていないでも「立体感があるよ」と聞きますが、それは大きいものは近くにあり、小さいものは遠くにあるという経験による遠近感であると考えられます。

昔は“視脳訓練”という字を当てていた意味が分かっていたかもしれませんでしょうか。

会員リレーエッセイ

運命の分かれ道と ヒトゲノム

栗野 利雄 (金沢市・内科)

私の健康のたどった道筋は、いつも波風に漂っていた。八十九歳を超え、九十歳代に飛躍する今も、毎日が不安の連続で一時も休む時がない。

幼年のころより、ちびっ子だったし、身長も大して伸びなかった。外形も人並みでなく、特に肋骨の発達の特異で、「一枚肋の桶胴」とひやかされたくらいである。個々の肋骨は肋間腔がないほどに太くなり、一見桶状に見えるのである。X線写真の方が分かりやすく、鑑(よよい)のごとく弾丸を寄せつけず。徴兵検査で直ちに甲種合格と言いつ渡され、外征五年間、鉄壁の強健をお国に捧げたのである。

太平洋戦場においてはマラリア熱、デング熱、アメーバ赤痢、国際梅毒など悪疫が渦を巻いていた。現在のイラクフセインの惨禍の現実が夢のよう。いかなる理由があつたにしろ、戦争は罪悪であり天人共に許さない。

鉄の風の吹き荒れる野戦の内側には、母性愛という平和があつた。母親は戦争から私の命を護った。中学三年生の夏、私は初めて病氣らしい病氣に罹患した。伝染病の「腸チフス」に四十度を超える高熱が約一カ月続き、腸出血で九死に一生を得て治療し、万病に対する完全免疫(?)を獲得し長命の基を築いた。

さて、今朝、ビッグな劃期的吉報が届いた(四月十六日)。人間の生命の設計図ともいふべき「人ゲノム(全遺伝情報)」を完全解説し、人ゲノム計画が完了したという。米国、英国、日本、フランス、ドイツ、中国六カ国首脳が、「すべての人々がより健康でいられる未来に向けて、重要な第一歩を踏み出した」と共同宣言した。それは計らずも四千年続いた釈迦佛教思想の廻帰や因果応報や輪廻の科学的近代的証明や分析、ないし裏付けに外ならなかった。

(二〇〇三年四月十六日・櫻花満開の日)

音楽夜話

ポケットにひとにぎりの音楽を

【第十五夜】「舞台に住む魔物」

歌を歌っている最中に思いつくこと。練習中ならばいもかけぬ事態に陥ること。「アハハ」と笑い飛ばして終わりとするが、それがコンサートの最中となると、

自身は笑って話せるようになるには相当時間がかかるのである。舞台には魔物が住んでいるのである。実際そう思わずにはいられない。僕の場合、歌っている時には一、二小節先の歌詞が頭の中に浮かんできている。歌詞の持つ意味をその時点で読み取り、感性の赴くままに歌い上げていく。このようにして歌に対する僕の解釈と表現がなされていくのである。ところが、突然頭の中に白紙しか浮かんでこないことがある。曲はどんなに進み、白紙が近づいてくる。まるで途切れた高速道路の端に向かって車がス

い、目の前が暗くなり、やがて気が遠くなりそうになる。時には車が落ちる寸前に白紙に歌詞がパッと現れて九死に一生を得ることもある。大抵はまっさかさくすらすらと出てくるものが、改めてどちらだろうかと考えると迷ってしまう。車のブレーキとアクセルを見ながら操作しようとする

後には芋づる式に出てくることが多いのである。不安な場合は出だしの言葉だけを取り出して直前確認するのだが、それでも白紙が現れるのだから、これはもう魔物の仕業としか言いようがない。

さて、この魔物の正体が「緊張」と「老化」の複合体であることには気がついたのはかなり前であったが、最近はその確信に変わってきた。日常生活で起こる失語や物忘れと同じパターンであるから、記憶力もかなり落ちている。今日か明日か、時間をかけて完全に覚えたはずの歌詞が、翌日には虫食いの状態であったり、ひど



ことである。練習中ならばいもかけぬ事態に陥ること。「アハハ」と笑い飛ばして終わりとするが、それがコンサートの最中となると、時と場所が揃っているだけに後々の語り草になったり、立ち直れないくらい強烈な思い出になったりする。もちろん、当人はそんな事態に陥らぬよう最大の努力と細心の注意を払って舞台に立つのであるが、決まってそうはいかないところに、この種の出来事の面白さがある。「面白い」などと書いてしまったが面白

みると、頭の白紙には種類が多々ある。数々の失敗を振り返ってみると、頭の白紙には種類が多々ある。数々の失敗を振り返ってみると、頭の白紙には種類が多々ある。数々の失敗を振り返ってみると、頭の白紙には種類が多々ある。

「老化」の複合体であることには気がついたのはかなり前であったが、最近はその確信に変わってきた。日常生活で起こる失語や物忘れと同じパターンであるから、記憶力もかなり落ちている。今日か明日か、時間をかけて完全に覚えたはずの歌詞が、翌日には虫食いの状態であったり、ひど

いた時には白紙状態になっている。ああ、昨日の努力は何だったのか、と悲しくなると、ふつと弾みに忘れたはずの歌詞が湧き水のように出てくる。目覚めの際、瞬間や信号待ちの時などで、好きなように考えることができるようになったし、お陰で歌がまた楽しくなり始めたのだから。

原稿募集!

本紙への投稿をお待ちします。

編集部では、読者からの投稿を随時お待ちしております。保健・医療・福祉、あるいは趣味や地域での取り組みなど、内容は問いません。字数は800字以内でお願いします。また、会員が主催する文化行事(コンサートや個展など)を紙面に紹介させていただきます。編集サイクルの都合で開催日までの掲載が間に合わない場合がありますので、事務局までお問い合わせください。

(編集部)

囲碁

■出題 九段 佐藤昌晴

黒先白死 5分で有段者
(ヒント) 初手が急所です。

(解答は2面にあります)

将棋

■出題 六段 高田尚平

6	5	4	3	2	1	
			王	歩		一
			歩		駒	二
		銀				三
		歩				四
						五
					桂	六
						七

持駒 飛角角

(ヒント) 2枚の角を捨てる。
10分で1級。

(解答は2面にあります)